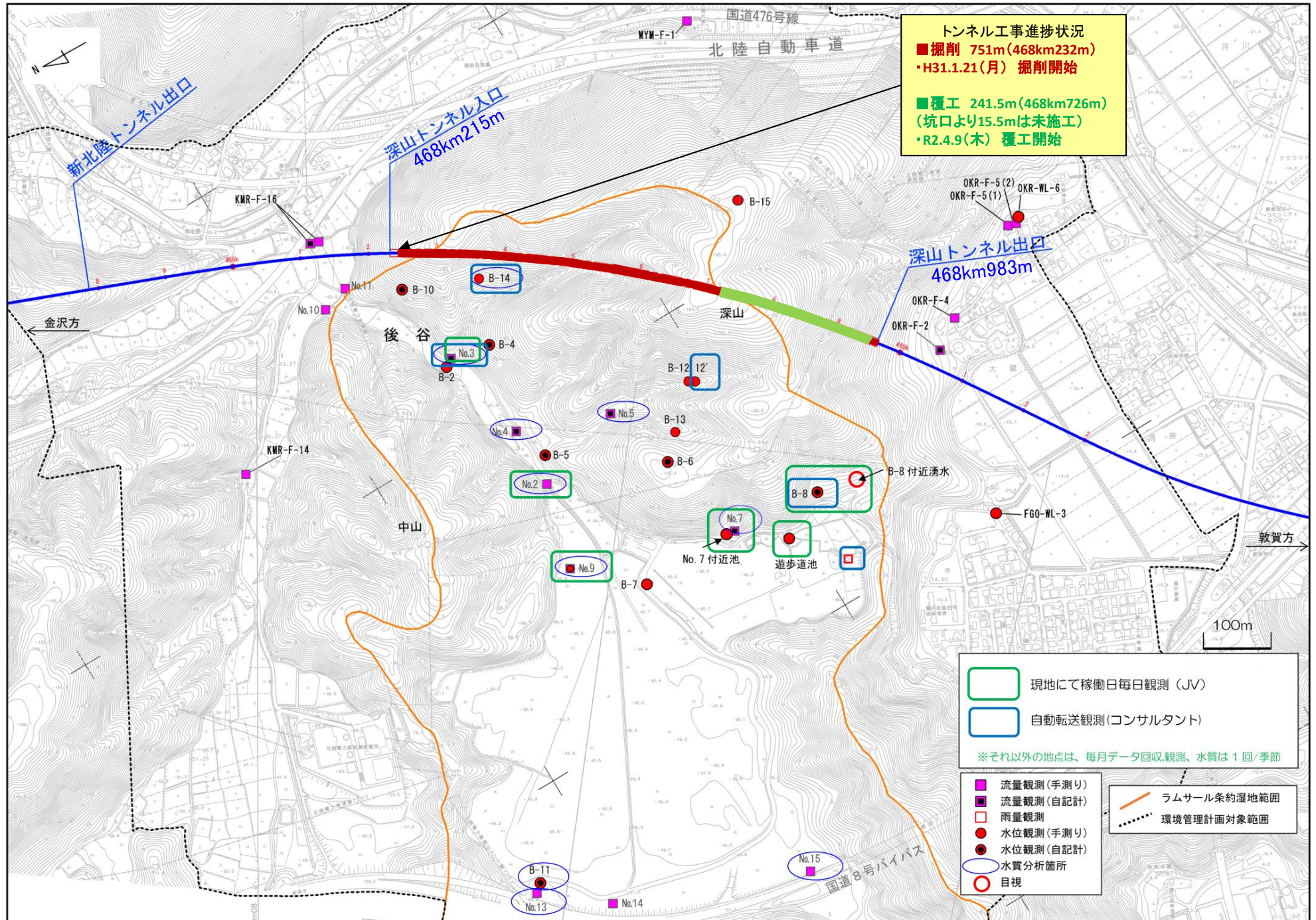


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間: 令和2年7月1日(水)～令和2年7月31日(金)

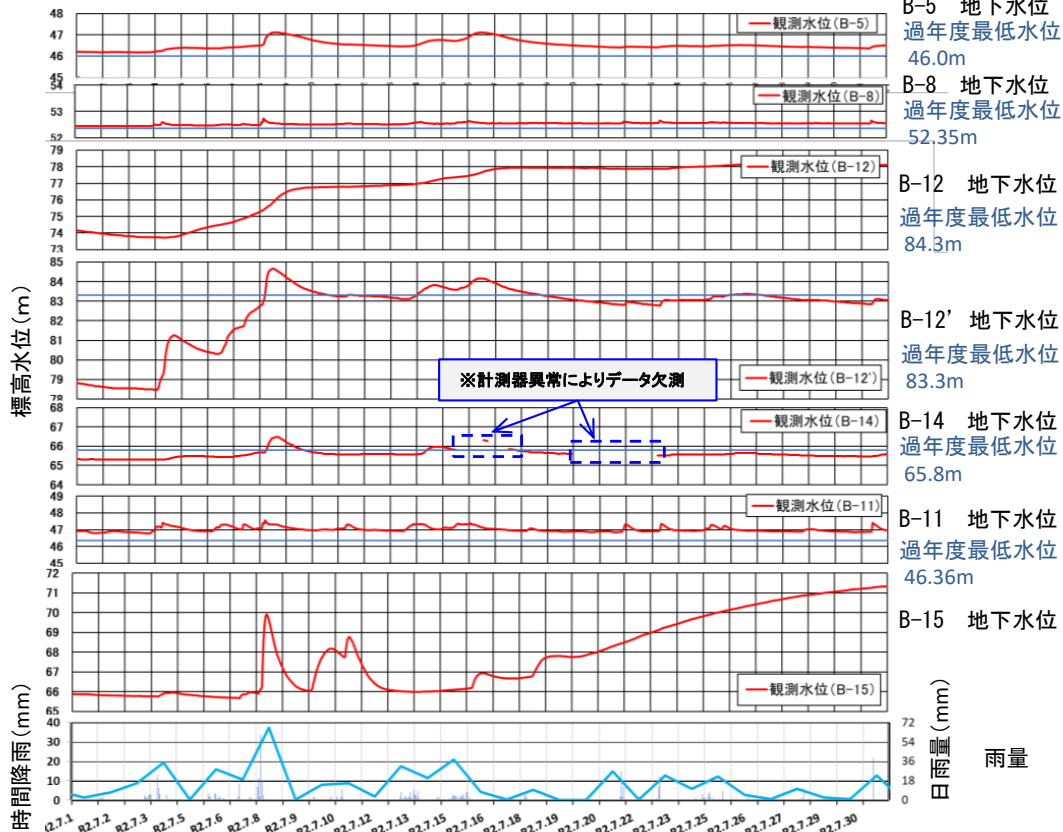
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



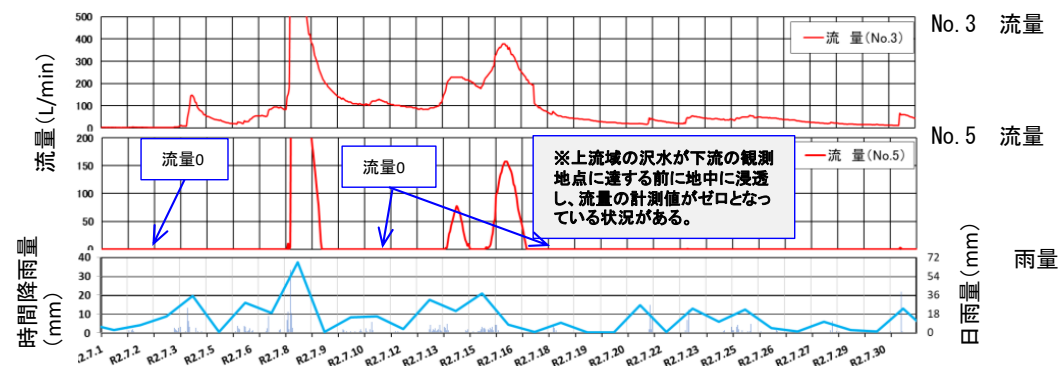
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



全体総括

■目立った変動なし □やや変動あり
□変動あり(注意体制への移行を検討)

期間中の地下水位低下量

■1m未満ないし増加:すべて
□2m未満 □5m未満 □5m以上
期間中の流量低下量

■50ℓ/分未満ないし増加:すべて □50ℓ/分以上
期間中のpH変動量

■0.5未満:B-8,B-12 □0.5以上 □1以上

日降水量

□15mm未満 □15mm以上 ■50mm以上:1日

月降水量

□80mm未満 □80mm以上 □130mm以上 ■200mm以上

概要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-8(自動転送):大きな水位低下はみられない。過年度最低水位とほぼ同じ水位。
- ③B-12(自記水位計):期間前半の降雨で水位上昇するも、先月に引き続き過年度最低値を下回っている(先月△10.1m⇒今月△6.3m)。⇒今後も注視する。なお、pHの値の変化はみられない。
- ④B-12'(自動転送):期間前半の降雨で水位上昇し過年度最低値を上回った水位を示すが、後半は過年度最低値(83.3m)をやや下回るの水位を示す状況となる。今後も注視していく。
- ⑤B-14(自動転送):本期間は降雨で水位上昇するも過年度最低水位(65.8m)をやや下回る水位を示す。引き続き注視していく。
- ⑥B-15(自記水位計):本期間は7/8の降雨以降水位上昇する。比較的路線に近い観測地点でもあるので、今後も注視していく。
- ⑦No.3(自動転送):前半は少量だが流量は確認している。7/4の降雨以降、全体に増加傾向で、後半は下降傾向である。
- ⑧No.5(自記):7/8,9,14,15以外は流量0となる。
⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。7/17にそれを現地確認している。

■降水量について

- ・7月の日降水量の最大を記録した日は、7/8の67.5mmであった。
- ⇒6月の日最大降水量は69.0mmであった。
- ・7月の月降水量は441.5mmである。
- ⇒6月の月降水量は237.5mmであった。